



2018年の振り返り

皆様新年あけましておめでとうございます、齋藤です。いよいよ新人です、なんて言えなくなってきました。今年も皆様に助けられながら、目の前の物事に対し精一杯取り組んでいく所存ですのでどうぞよろしくお願い致します。

さて2018年を振り返って繁殖成績や疾病等例年と比べていかがでしたでしょうか。今回のM情報では2018年私たちが診療した病名とその件数を表にまとめてみました。あくまでも診療にいった件数ですので総疾病数とは異なりますのでご注意ください（特に乳房炎等）。また、ピックアップした疾病のみ表にあげましたので実際の診療件数とも異なります。

表を見てみると、やはり蹄病は圧倒的に秋に多く発生していることがわかります。それに対し、DDと呼ばれている蹄の皮膚病変は春に多いですね。そして余談ですが去年は本当に蹄病の深部感染が例年に比べて多く見受けられました。深部感染というのは、蹄病のかなり病状が悪化したもので、その感染が蹄の関節まで及んでいるものです。深部感染に及んでしまうと「完治」というものが非常に難しくなってしまいます。足が痛い牛を見つけたら、できるだけ早めに呼んでください！

また、意外なことに四胃変位は1月に最も診療件数が多く発生していました。つまり今月、要注意かもしれません…。怖い…。そして無視しえないのは脱臼や股裂け、神経麻痺等の運動器疾患の135という数字です。これは本来であれば健康で乳を出してくれていたであろう牛たちの数です。今年はその数字が限りなく0に近いことを祈るばかりです。

実は事務員さん達が私たちの毎日の診療をパソコンでデータ化してくれています。この表が作れたのもそういった苦勞のおかげであります。今年を支えてくださる全ての人に感謝しながら日々を過ごしたいものです。まずは事務員さんありがとう。

齋藤 歩

病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
肺炎	30	18	31	21	21	32	32	20	22	24	25	10	286
第四胃左方変位	22	9	21	17	10	15	17	18	12	14	16	6	177
第四胃右方変位	1	1	4	1	4	2	1	2	0	1	3	0	20
盲腸拡張、捻転	1	1	1	1	0	1	1	0	0	0	1	0	7
腸炎、下痢	18	21	28	21	17	22	27	15	18	8	23	8	226
脂肪肝、ケトーシス	18	13	13	19	21	23	14	19	18	18	26	6	208
乳熱(低カルシウム血症)	13	13	15	14	21	6	17	14	8	12	17	6	156
乳房炎(SA)	1	0	0	1	2	3	1	2	2	1	3	0	16
乳房炎(OS)	4	0	2	0	0	2	1	0	4	1	4	0	18
乳房炎(大腸菌)	9	9	10	7	9	8	21	14	26	18	9	5	146
乳房炎(緑膿菌)	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	3
乳房炎(アクチ)	0	3	1	2	2	0	1	6	0	3	2	4	24
乳房炎(CNS)	0	0	0	0	2	1	3	0	1	0	0	0	7
乳房炎(カビ)	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0	4
難産(胎児失位)	3	1	5	4	7	3	9	6	3	4	5	1	51
子宮捻転	0	1	4	0	2	0	1	1	1	2	1	1	14
悪露停滞、子宮炎	9	8	13	5	11	10	21	11	18	8	6	2	122
臍帯炎	0	0	1	1	2	1	2	1	0	0	0	0	8
中耳炎	0	0	2	0	1	1	1	1	0	0	1	0	7
運動器疾患(神経麻痺,脱臼等)	11	10	7	8	14	16	14	17	11	9	8	10	135
趾間フлегモーネ	15	14	21	13	20	6	12	11	9	12	13	12	158
疣状皮膚炎(DD)	27	29	45	46	24	29	29	17	17	29	25	20	337
趾間過形成	7	5	6	4	4	4	2	1	4	4	5	5	51
白線病	30	45	48	49	45	49	65	78	75	74	73	36	666
蹄底潰瘍	29	30	27	22	37	18	32	36	42	44	43	31	391